

2020年12月15日(火曜)  
労働政策フォーラム  
【事例報告】

# アニメーターの 働き方の課題

亜細亜堂労働組合 委員長  
船越 英之

# 1 亜細亜堂の概要

## 株式会社亜細亜堂

- 1978年設立
- アニメ制作会社  
下請け中心。ただ、最近は元請けの作品も制作。
- 制作作品  
忍たま乱太郎、ぼくらの7日間戦争、かいけつゾロリ etc.
- 所在地：埼玉県
- 従業員：約70名

## 2 亜細亜堂労働組合

- 結成：2017年 7月
- 上部団体：映演労連（映画演劇労働組合連合会）  
アニメ制作会社の労働組合は非常に稀な存在
- 結成のきっかけ
- 最近の活動は停滞気味...業種特有の問題（？）  
仕事への忙殺、働き方の課題よりも好きなことをしているとの意識

僕自身は

同じ業種や地元の様々な業種の方との交流から、業界の現状、地域活動、行政の問題などを学ぶ機会

感謝！

# 3 僕が考えるアニメ業界の課題①

最大の課題は・・・

## 新人アニメーターへの業務委託

- 経験のない若者      ➡ 一人前のフリーとして契約
- 技量や経験不足      ➡ 作画枚数少ない
- 出来高払いのため   ➡ 薄給

# 3 僕が考えるアニメ業界の課題②

## 新人アニメーターの働き方（例）

### 新人の最初の仕事は動画

- 作画でキーになるポーズを描くのが原画
- 動画は、その絵と絵の間に、「中割り」という絵を入れて動きを完成させる。

### 動画の単価はいくら？

- 200円台も多い ➡ 僕の就職時（35年前）と同じ

予算がある作品の単価はこれより高いのだろうが...

# 3 僕が考えるアニメ業界の課題③

動画単価と最低賃金の比較（仮に1枚250円とすると）

- 東京都の最低賃金 1,013円（時給）  
    ➡ 1時間あたり5枚の動画の作成が必要！！
- 172,210円（月給）（1,013円×170時間）  
    ➡ 1ヶ月あたり689枚の動画の作成が必要！！
- 僕の経験では就職当時は300枚程度。多くても500枚。

**新人アニメーターは最低賃金以上稼ぐのは困難**

# 4 まとめ

最大の問題は、

**個人事業主・業務委託には、最低保証がないため、  
アニメーターを志した若者が辞めてしまうという現実**

対策としては、

- 業界全体での実態調査（人件費、制作単価）
- 制作予算の指針の作成

**個別の企業・労働組合での対応には限界**